

## 第 4 回審議（第 60 回北九州市環境審議会）における委員の意見

《第 4 回審議》令和 3 年 4 月 2 1 日

委員の意見	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>18 ページについて、事業系ごみ量（市の施設で処理する量）といった書き方が、家庭系ごみの書き方と併行して見やすいかと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘を踏まえ、修正いたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>将来のこの 10 年でどうやっていくのかっていうのが、もう少し具体的に見えたほうが良いかと思う。北九州市が今後どうしていくのか、例えば、どの自治体と連携してどういうモノの動き、人の動き、お金の動きがあるのかというところを、今後の 10 年を想定して、具体的にもう 1 ページくらい書いてみたら良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回策定する本基本計画に基づき、今後の施策について、引き続き検討してまいります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>この見慣れない地消地循環という言葉が、何を意味しているのかということを早めの段階で説明して、本計画におけるこの言葉の意味の重要性や、北九州市のコンセプトみたいなものを説明したうえで、地消地循環のページを読むと、より理解が深まるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘を踏まえ、修正いたします。 (P. 18 に「地消・地循環」の説明を挿入)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本理念のところで、本市は「持続可能」から発展していかなければならない。持続可能ということが平行にならないように表現できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な発展的な施策に取り組んでいくことが、「持続可能な都市」の実現につながると考えており、本計画では、プラスチックごみ対策や食品ロス削減対策、国際貢献など、持続可能な都市とするための新たな施策に取り組んでいくこととしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>基準年が異なるので、読みづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの基準年の根拠を追記いたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>行政の役割に、政策の策定とか、推進とか、管理とか、それから計画の見直しというものを、ぜひ付け加えていただきたいと思います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の見直しについては、「第 5 章 計画の推進」に記載しております。ご理解をお願いいたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>第 4 章の 4 つの計画の視点ごとに、計画の中で色の区別を揃えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり修正いたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>【就学前教育及び学校教育】のところで、「市保育所」ではなく、「市内の保育所」でお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおり修正いたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>廃食用油の回収について、市民にもっと宣伝してもらいたい。早急に進めていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、より多くの市民の協力を得られるよう、周知・啓発を強化してまいります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者教育の中で、子育て世代の、自主学習・自主活動されているお母さまたちがけっこういらっしゃる。そういう方たちとつながって一緒にやっていけたら良いと思う。どのように記載したら良いかは分からないが、パイプはあると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘を踏まえ、P55 に、子育て世代との連携に関する取組内容を追記いたします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の役割としては、やはり 3R のうちのリデュースをまずやる、もしくはそこのビジネス化を図る、というのはとても大事だと思う。後の方のビジネスのところでも、サーキュラーエコノミーの中での長寿命化とか、ものを使わないとか、北九州は非破壊検査やメンテナンスやセンシングなど、そういうものがありますので、実はそのあたりはすぐ環境ビジネスだと思う。そのあたりをどういうふうに市として進めていくのかというのは、戦略的に少し検討いただければと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘を踏まえ、P70 に、 (4) 廃棄物の発生抑制(リデュース)に貢献する産業への支援 として、取組み内容を追記いたします。</li> </ul>